

高輻射表面処理技術◆特許取得済

電子機器の長寿命化、機器の小型化、ファンレスを実現

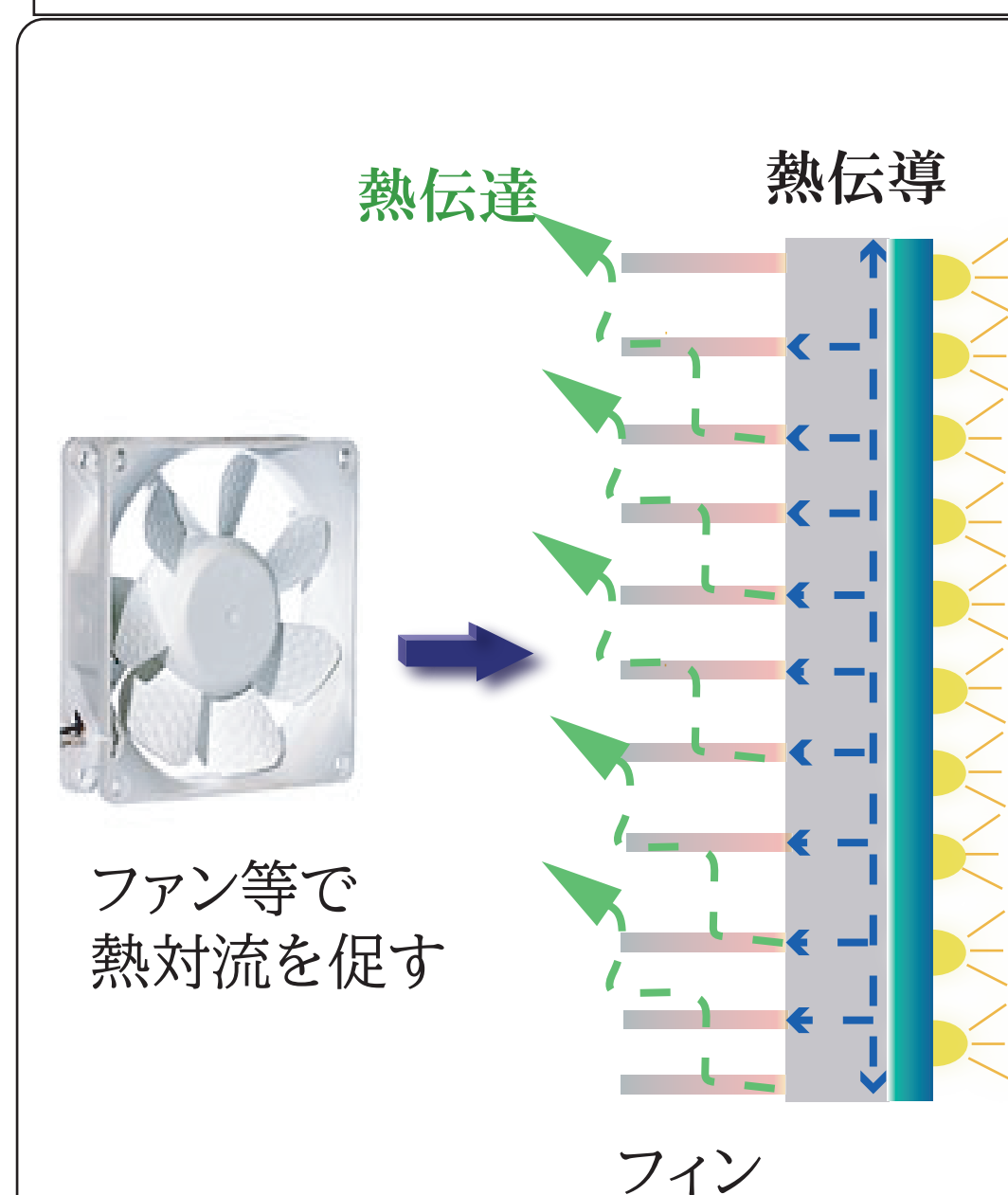
放熱の必要性について

あらゆるジャンルに活躍している
電気製品・電子機器では
『軽量化』『薄型化』『高機能化』
『高密度化』により
発熱量の増大、局所集中など
熱対策が非常に重要になっています

高輻射表面処理技術概要

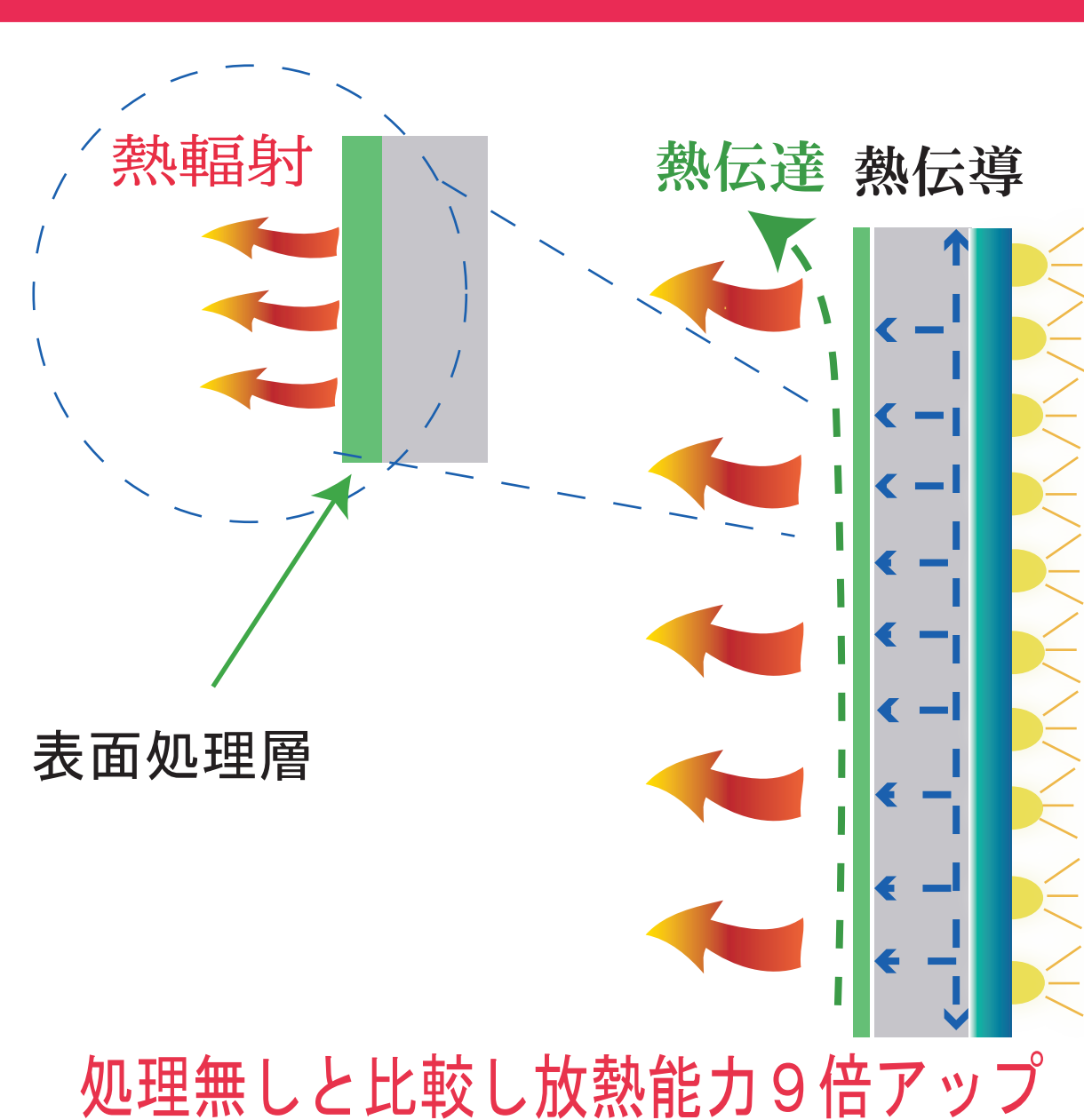
熱を逃がしやすい物質を表面に形成
アルミニウム表面に輻射機能を付加
赤外線波長（ λ ）と同程度の微細構造
周期的に形成している

従来（熱伝導・熱伝達）



- ・熱源(出力)が大きくなると、発熱量も増大
放熱の新しい仕組みが必要
(ファン追加や機構変更)
- ・フィン構造になると重量増となり
新たな軽量化の仕組みが必要になる
- ・ファン部品の交換が必要になる

高輻射表面処理

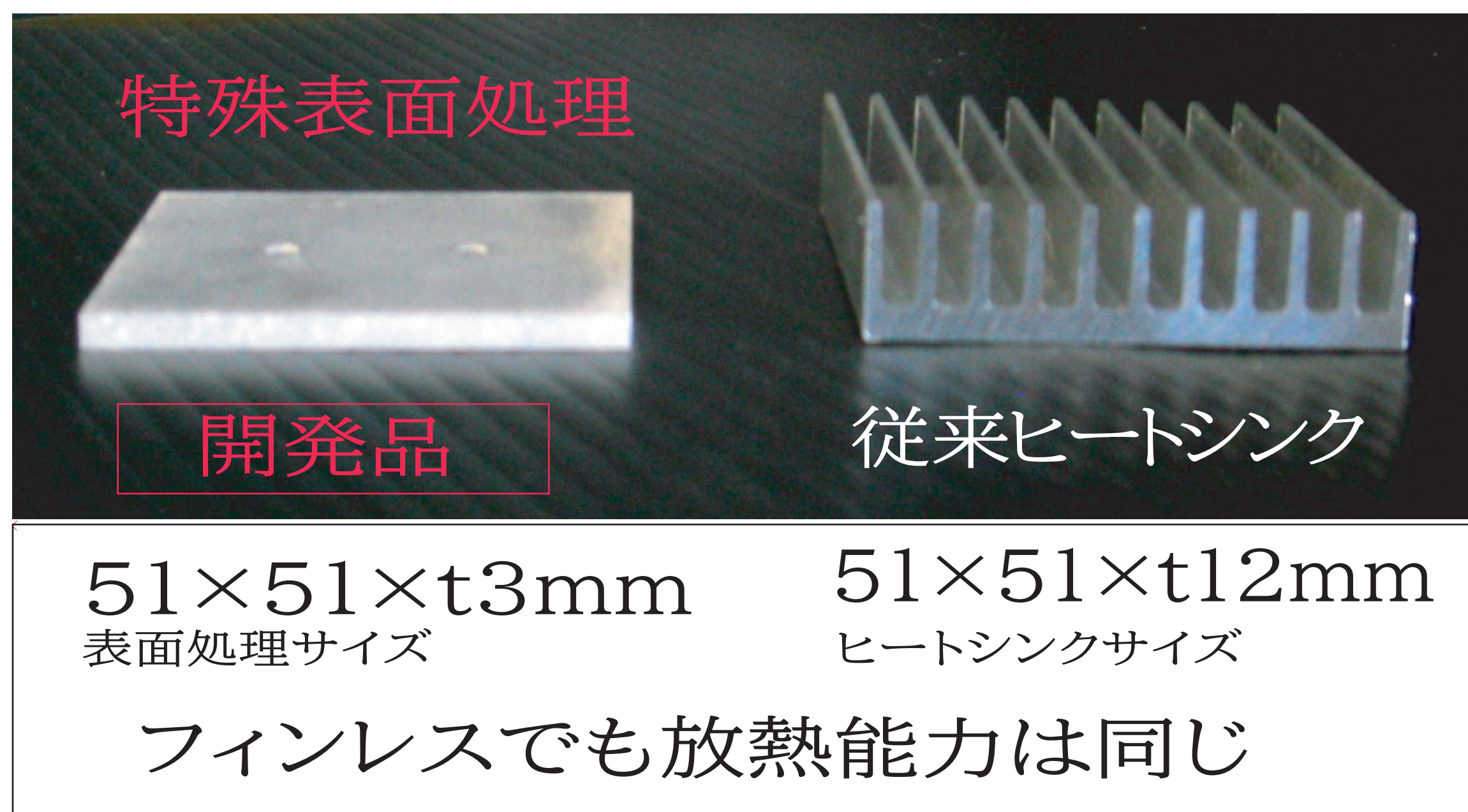


処理無しと比較し放熱能力9倍アップ

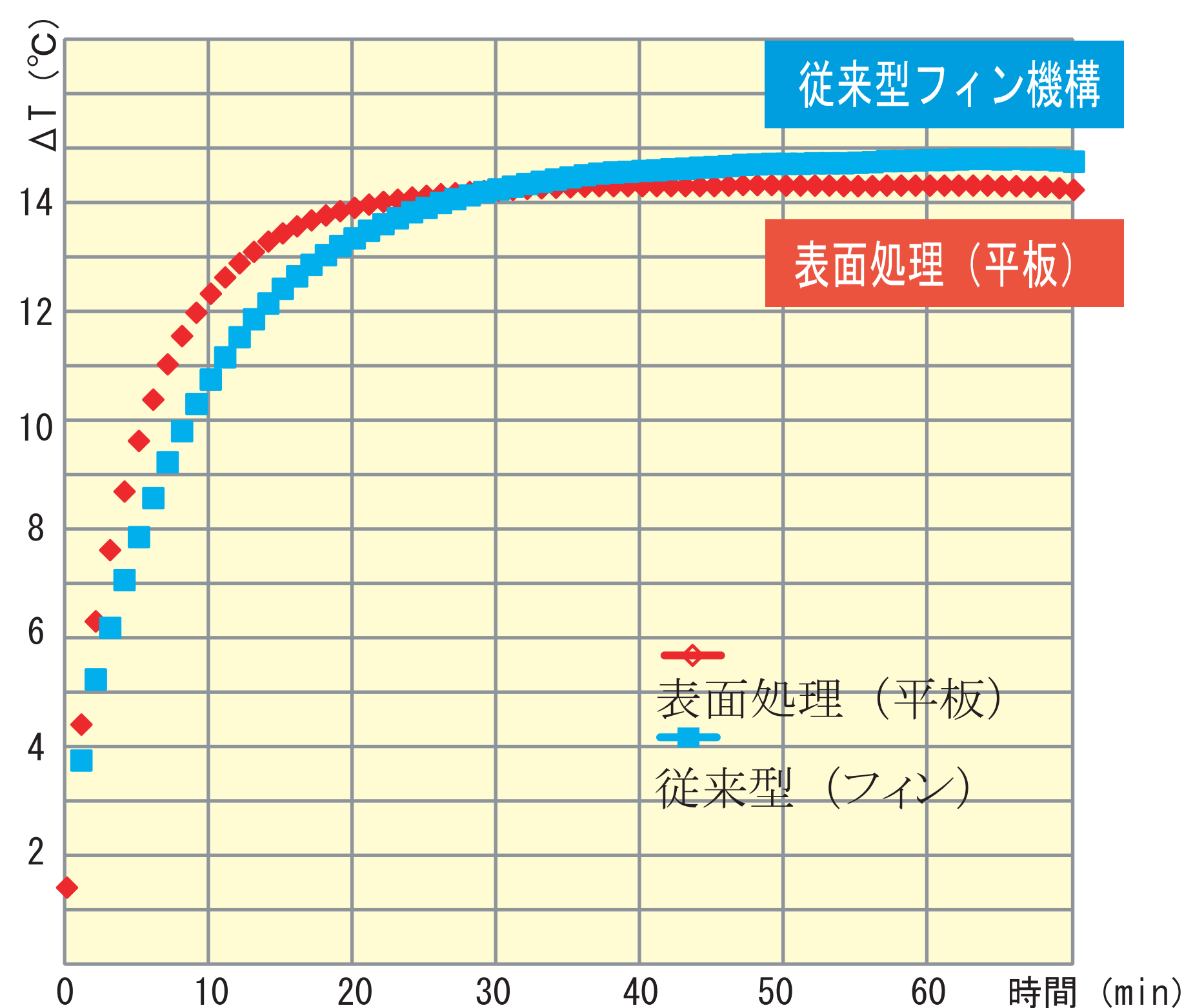
- ・同じ出力で小型化、軽量化
- ・同じ形状で高出力化
- ・省コスト(ケース機構が簡単になる)

画期的な放熱技術で長寿命化を実現

コンパクトになって同じ放熱能力を持つ



特殊表面処理と従来ヒートシンクとの比較



株式会社イネックス 技術応用部